

## 執筆者紹介（五十音順）

諫早 勇一（いさはや ゆういち）	外国語学部世界教養学科教授 ロシア文学、ロシア文化
伊藤 達也（いとう たつや）	外国語学部フランス語学科教授 フランス語学、語彙意味論、翻訳理論
井上 泰夫（いのうえ やすお）	現代国際学部国際ビジネス学科教授 制度経済学、経済学史、レギュレーション理論
梅垣 昌子（うめがき まさこ）	外国語学部英米語学科教授 アメリカ文学
大岩 昌子（おおいわ しょうこ）	外国語学部フランス語学科教授 音声学、第二言語習得、フランス文化、食文化
甲斐 清高（かい きよたか）	外国語学部英米語学科准教授 イギリス文学
加藤 有子（かとう ありこ）	外国語学部世界教養学科准教授 ポーランド文学・文化、表象文化論
亀山 郁夫（かめやま いくお）	学長 ロシア文学・ロシア文化
後藤 希望（ごとう のぞみ）	現代国際学部国際教養学科准教授 メディア論、メディア史
佐藤 都喜子（さとう ときこ）	現代国際学部国際教養学科教授 ジェンダー研究、人口研究、フィールド調査法
高橋 直子（たかはし なおこ）	外国語学部英語教育学科講師 理論言語学、英語教育
野谷 文昭（のや ふみあき）	外国語学部世界教養学科教授 スペイン語圏文学・文化
林 良児（はやし りょうじ）	外国語学部フランス語学科教授 フランス文学、美術史
船越 達志（ふなこし さとし）	外国語学部中国語学科教授 中国文学
室 淳子（むろ じゅんこ）	現代国際学部現代英語学科教授 英語圏文学、先住民文化
ムーディ 美穂（むーでい みほ）	現代国際学部現代英語学科准教授 英語教育、表現教育
ライアン・モリソン（Ryan Morrison）	外国語学部世界教養学科講師 日本文学、文学理論、翻訳理論
<hr/>	
浅田 彰（あさだ あきら）	批評家、京都造形芸術大学 主著に『構造と力』（1983年）、『逃走論』（1984年）、『ヘルメスの音楽』（1985年）、 『映画の世紀末』（2000年）、『20世紀文化の臨界』（2000年）など
関口 涼子（せきぐち りょうこ）	詩人、作家、翻訳家 文芸翻訳に『悲しみを聴く石』（アティーク・ラヒーミー著）、 『素晴らしきソリボ』（パトリック・シャモワゾー著、パトリック・オノレと共訳）など
塚田 美紀（つかだ みき）	世田谷美術館学芸員 主な共著に『現代に生きる博物館』（有斐閣、2012年）、 主な訳書に『エドワード・スタイケン写真集成』（岩波書店、2013年）など

（2017年3月現在）

## 2016年度 ワールドリベラルアーツセンター活動記録

### 関連イベント

開催日時	イベントタイトル	講演者・ゲスト		主催団体等
2016年 4月18日(月)	【ワークショップ】 英語ドラマワークショップ ENGLISH THROUGH DRAMA―第2弾！―	小口 真澄	英語芸術学校MARBLES、 劇団「夢生」主催	WLAC
2016年 5月14日(土)	【シンポジウム】 日本の医療通訳を国際的な視点から考える	イケネ・クレズィー 他	オークランド工科大学講師	科研費研究グループ
2016年 6月3日(金)	【講演会】 男装の女性作家ジョルジュ・サンド ―その生涯と現代性―	高岡 尚子	奈良女子大学研究院 人文科学系教授	フランス語学科
2016年 7月16日(土)	【講演会】 日本の領土問題を考えるカギ― サンフランシスコ体制と尖閣・竹島・北方領土： 過去、現在・未来	原 喜美恵	カナダウオータールー大学教授、 京都大学東南アジア研究所客員研究員	WLAC
2016年 9月18日(日)	【講演会】 キャンパスのグローバル化を目指して： グローバル人材育成から得られた教訓	ダルラ ディアドルフ	アメリカ デューク大学教授、 国際教育専門家	WLAC
2016年 10月4日(火)	【講演会】 世界をめぐる知的冒険への旅Vol.3 「世界を駆けめぐる―国際協力の現場からの発信―」	柳沢 香枝	国際協力機構研究所 シニア研究所アドバイザー	WLAC
2016年 10月15日(土)	【公演】 White Horse Theatreによる公演 "Romeo and Juliet"	White Horse Theatre	劇団	WLAC
2016年 10月20日(木)	【講演会】 味の翻訳	関口 涼子	詩人・翻訳家	フランス語学科
2016年 11月21日(月)	【講演会】 若者文学におけるフィクションと現実	ヴァレリー・ゼナッティ	フランス女性作家	フランス語学科
2016年 12月3日(土)	【シンポジウム】 日本フランス語フランス文学会2016年度 中部支部大会 演題:「(黙過)の想像力」	松澤 和宏、 重見 晋也、 亀山 郁夫	名古屋大学大学院文学研究科教授 名古屋大学大学院文学研究科准教授 本学学長	日本フランス語 フランス文学会 中部支部
2016年 12月11日(日)	【シンポジウム・コンサート】 ショスタコーヴィチ生誕110周年記念 シンポジウム&コンサート 「魅えるショスタコーヴィチ」	野村 友紀、 山下 勝、 青澤 隆明、 新井 隼子、 安原 雅之、 松本 良一	演奏家(チェロ) 演奏家(ピアノ) 音楽評論家 東京芸術大学教授 愛知県立芸術大学 読売日本交響楽団	WLAC
2016年 12月20日(火)	【講演会・コンサート】 世界をめぐる知的冒険への旅Vol.4 「2016年の世界を旅する： 今年の重大ニュースを振り返って」	飯尾 歩、 高瀬 淳一、 後藤 希望、 川村 範行	中日新聞論説委員 本学教員 本学教員 本学教員	WLAC
2016年 12月22日(木)	【コンテスト】 第1回 国際教養学科主催 国際教養セミナー	大槻 知史(審査員)、 豊田 祐輔(審査員)	高知大学地域協働学部准教授 立命館大学政策科学部准教授	国際教養学科
2017年 1月7日(土)	【講演会】 第10回 英語教育学科主催講演会 演題:英語教育と文学	亀山 郁夫	本学学長	英語教育学科
2017年 1月12日(木)	【講演会】 ストリートチルドレンからギャングまで ―メキシコ・中東の若者からみえる「世界」―	工藤 律子	ジャーナリスト	世界教養学科
2017年 2月20日(月)	【シンポジウム】 多文化共生社会と難民問題 ―イギリス、オーストラリア、日本の事例から―	ジュディス・グリーンソン、 リンダ・カーク、 川口 直也	イギリス移民上訴法廷副所長、 オーストラリア行政上訴法廷・ オーストラリア国立大学、 弁護士	WLAC

## 編集後記

本誌創刊号の読者から、文化の香りが漂ってくるという感想をいただいた。いささかくすぐったい気がするが、それは少なくとも今、われわれが目指していることなので、そのコンセプトが伝わったとすれば喜ばしい限りだ。ただ、その文化も、教養のひけらかしの道具になってしまつては意味がない。それでは明治の方向へ逆戻りしてしまう。今がクラシックを少数エリートに独占させる時代でないことは言うまでもない。重要なのは本来の面白さや魅力を生き生きと伝え、それを今とどうつなげるかである。

そんなことを意識しながらの編集作業だったが、当初編集部で考えた特集のテーマが「翻訳」であつたにもかかわらず、それを軽々と越えてしまつたようだ。文化の多様性が生かされていると評価する向きもあるだろうし、統一性が失われていると批判する向きもあるだろう。ただ、いずれにせよ、創刊号の目指した、発信する雑誌という性格は本号においてより強まつたのではないだろうか。

本学は小規模大学であり、教員の数も決して多くはない。それでも個々の教員が雑誌という広場にそれぞれの知識や経験を持ち寄り、披露し合えばこれだけのものになる。そこに関口涼子氏、浅田彰氏、塚田美紀氏のような外部の専門家が加わることで、我々だけでは得られない視点、批評、知性に裏打ちされた経験が触媒となり、広場の祝祭性は一層強まる。もちろん、それが内輪の祭りになってしまつては意味がない。日本では今や東京五輪という《祝祭》を目指すようマスメディアは促している。だがリオでは大規模な反対運動が延々と続いた。まさか日本ではそういう事態は生じまじときと誰もが思っているに違いない。それでもテロ対策が声高に叫ばれる。確かに、今やグローバル化したテロの問題は小さくない。とはいえ、厳戒体制の下での《祝祭》はどこか窮屈だ。せめて本誌は常に自由な知と言葉の祝祭の場であつてほしいと思う。本誌が幅広い読者にお読みいただけることを願う。(F・N)

## ArtesMUNDI

アルテス・ムンディ Vol. 2  
2017年3月24日発行

### ■ 編集人

野谷文昭 Noya Fumiaki

### ■ 発行人

亀山郁夫 Kameyama Ikuo

### ■ 発行所

名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター  
〒470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山57  
TEL. 0561-75-2164

### ■ 編集

野谷文昭 (編集長)  
梅垣昌子  
甲斐清高  
ムーディ美穂  
高橋直子  
三枝茂人  
平山陽洋  
ポール・クレイン  
伊藤達也

Noya Fumiaki  
Umegaki Masako  
Kai Kiyotaka  
Moody Miho  
Takahashi Naoko  
Saigusa Shigeto  
Hirayama Akihiro  
Paul A. Crane  
Ito Tatsuya

### ■ 編集協力

戸田 都

Toda Miyako

### ■ 表紙

細野綾子 (デザイン)  
平木 元 (イラスト)

Hosono Ayako  
Hiraki Gen

### ■ 印刷所

株式会社荒川印刷

\* 本誌に掲載されている記事、図版、写真等の無断掲載、複製、転載を禁じます。

© 名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター 2017年